

# しんきんUSバランス・プラスゴールド(1年決算型)

## 愛称:米国キラリ

追加型投信/海外/資産複合

### 交付運用報告書

第4期(決算日2025年2月25日)

作成対象期間(2024年2月27日~2025年2月25日)

第4期末(2025年2月25日)	
基準価額	9,522円
純資産総額	317百万円
第4期	
騰落率	4.2%
分配金(税込み)合計	180円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド各種資料」において運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんUSバランス・プラスゴールド(1年決算型)」(愛称:米国キラリ)は2025年2月25日に第4期の決算を行いました。

当ファンドは、海外の複数の資産(債券・株式・金)に分散投資をすることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

#### しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

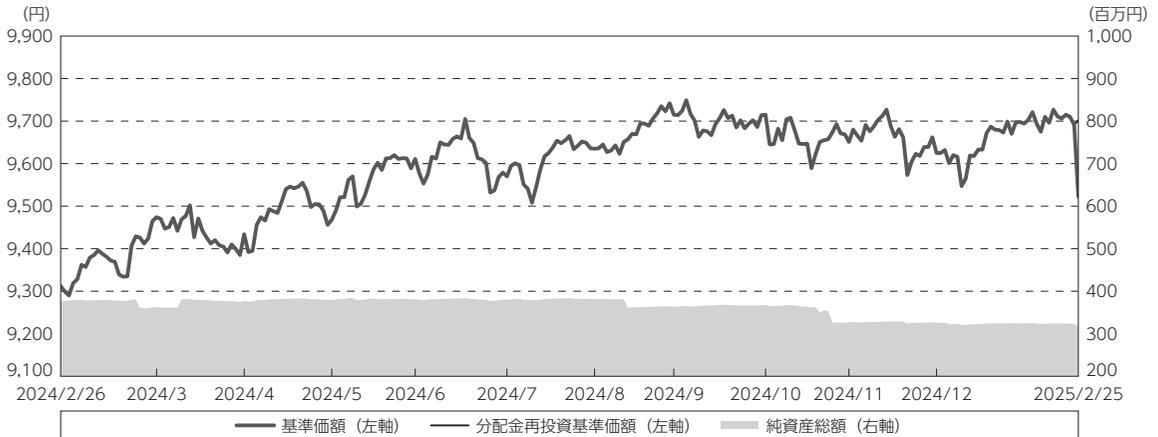
<コールセンター> ☎ 0120-781812

(土日、休日を除く) 携帯電話からは03-5524-8181  
9:00~17:00

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2024年2月27日～2025年2月25日)



期首：9,312円

期末：9,522円 (既払分配金(税込み):180円)

騰落率：4.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年2月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産(米国債券・米国株式・金)に分散投資を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。

当期は、米国株式市場と金相場の上昇が基準価額に対してプラスに寄与したことを主因に基準価額は上昇しました。

各マザーファンドの主な変動要因は、次のとおりです。

## 米国債券

## ●しんきん米国債券ETFマザーファンド

## &lt;上昇要因&gt;

- ・フランスの政局不安によりリスク回避の動きが強まり、米10年債利回りが低下(債券価格は上昇)したこと。

- ・米国景気の減速懸念が高まったこと。

<下落要因>

- ・米国経済の堅調さを示唆するデータが散見され、米10年債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。
- ・トランプ次期政権の政策がインフレを喚起するとの見方が広がったこと。

## 米国株式

### ●しんきんS&P500インデックスマザーファンド

<上昇要因>

- ・米国の企業決算が好調だったこと。
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを実施し、米経済成長の見通しが上方修正されたこと。
- ・トランプ次期政権が掲げる規制緩和や減税が米国景気を刺激すると期待されたこと。

<下落要因>

- ・米国景気の減速懸念が高まったこと。
- ・中国のAI開発企業であるDeepSeek（ディープシーク）が開発した低コストの高性能AIが米ハイテク企業の競争環境を変化させる可能性があるとの警戒感が高まったこと。

## 金

### ●しんきんゴールドETFマザーファンド

<上昇要因>

- ・中東情勢が激化したこと。
- ・2024年9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.5%の利下げが実施されたこと。
- ・トランプ次期政権の関税政策に対する警戒感が高まったこと。

<下落要因>

- ・FRB高官が利下げに慎重な発言をしたこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2024年2月27日～2025年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	86	0.900	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 40)	(0.417)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 43)	(0.450)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.061	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 投 資 信 託 証 券 )	( 6)	(0.061)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	10	0.099	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 8)	(0.088)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 1)	(0.005)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	102	1.061	
期中の平均基準価額は、9,576円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

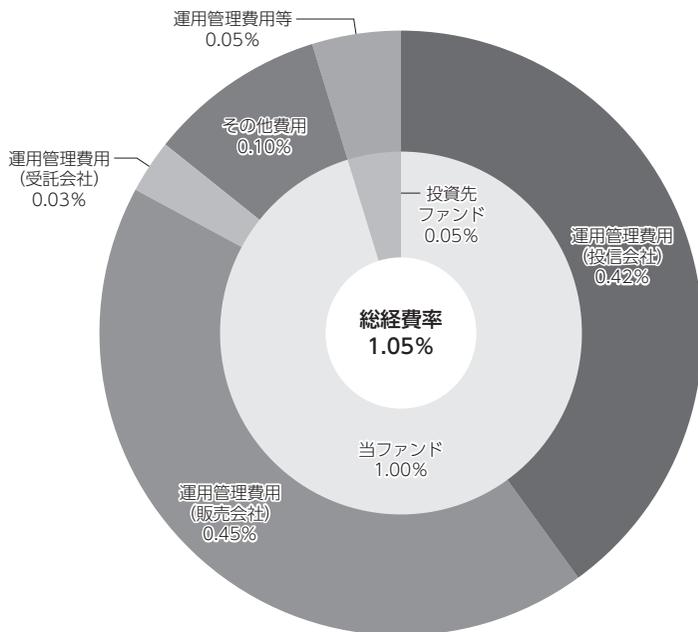
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.05%です。



(単位:%)

総経費率(①+②)	1.05
①当ファンドの費用の比率	1.00
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用等の他に費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年2月25日～2025年2月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2021年6月14日です。

	2021年6月14日 設定日	2022年2月25日 決算日	2023年2月27日 決算日	2024年2月26日 決算日	2025年2月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,921	9,302	9,312	9,522
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	95	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 0.8	△ 6.2	1.1	4.2
純資産総額 (百万円)	18	308	362	375	317

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2022年2月25日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドは、海外の複数の資産(債券・株式・金)に分散投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または運動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

**投資環境**

(2024年2月27日～2025年2月25日)

**(米国債券市況)**

当期の米回国債市場では、米10年債利回りがほぼ横ばいとなりました。

期首から2024年4月末にかけては、米雇用統計や米供給管理協会（I S M）製造業景況指数などの経済指標が市場予想を上回り、米国経済の堅調さを示唆するデータが散見されたことに加え、3月の米消費者物価指数（C P I）がインフレ懸念の再燃を示唆したことなどから、米10年債利回りは4.7%程度まで上昇しました。9月中旬にかけては、I S M製造業景況指数や米雇用統計が市場予想を下回ったことに加え、フランスの政局不安によりリスク回避の動きが強まったことから、米10年債利回りは低下しました。9月のF O M Cでは利下げが実施されたものの、パウエルF R B議長が利下げは急がないと発言したことから、米10年債利回りは上昇しました。10月から2025年1月中旬にかけては、堅調な米国景気やトランプ次期政権の政策がインフレを喚起するとの見方が広がったことを背景に、米10年債利回りは4.8%程度まで上昇しました。当期末にかけては、米インフレ指標が物価上昇圧力の緩和を示唆し、さらに米消費者信頼感指数が市場予想を下回ったことから、米国景気の減速懸念が高まり、米10年債利回りは低下しました。

**(米国株式市況)**

当期の米国株式市場は、全体として上昇しました。

期首から2024年3月までは、米国の経済指標がインフレ鈍化を示唆したことや、3月のF O M Cで年3回の利下げが示唆されたことに加えて、2024年から2026年の米経済成長率見通しが引き上げられたこともあり、株式市場は上昇基調で推移しました。4月は、F R B高官による利下げ慎重姿勢の表明や、中東情勢の悪化によるリスク回避の動きが市場の重しとなり、下落基調となりました。その後、5月から6月にかけては、好調な米国企業決算やインフレ鈍化が支援材料となり、再び上昇に転じました。7月から8月は、米国景気の減速懸念が高まり、一時的に大きく下落する局面もありましたが、F R Bの金融政策に対する期待感が市場を下支えし、最終的には堅調に推移しました。

9月から10月にかけては、F R Bが利下げを実施し、米経済成長の見通しが上方修正されたことが市場の支援材料となり、株式市場は上昇基調を維持しました。11月以降は、トランプ次期政権が掲げる規制緩和や減税が米国景気を刺激するとの期待で上昇する局面もありましたが、同政権の通商政策への不透明感や、中国のA I開発企業であるDeep Seek（ディープシーク）が開発した低コストの高性能A Iが米ハイテク企業の競争環境を変化させる可能性があるとの警戒感から、市場は一進一退の動きとなりました。

**(金市況)**

当期の金相場は、大きく上昇しました。

期首から2024年4月中旬にかけては、米国の経済指標の悪化に伴うF R Bの早期利下げ期待の高まりや中東情勢の激化などを背景に、金相場は大きく上昇しました。8月末にかけては、一部のF R B高官が利下げに慎重な発言をしたことなどから下落する局面もありましたが、フランス政治の混乱によるリスク回避の動きや中東の地政学リスクの高まりなどを背景に、じりじりと上昇する展開となりました。10月中旬にかけては、9月のF O M Cで0.5%の利下げが実施されたことや、米大統領選挙に対する不

透明感などから、金相場は大きく上昇しました。当期末にかけては、急激な上昇に対する警戒感が高まり、売りが優勢となったことや、米大統領選挙でトランプ氏勝利を受けた米10年債利回りの上昇が重しとなり、下落する局面もありました。しかし、中国の金融政策スタンスの緩和による金需要の増加や、トランプ次期政権の関税政策に対する警戒感などから、安全資産としての買いが優勢となり、もみ合いながら上昇しました。

#### (為替市況)

当期の為替(米ドル円)相場は、米ドル安円高となりました。

期首から2024年6月末までは、米国のインフレ指標や雇用統計の結果を受けて、米国の早期利下げ観測が後退し、日米金利差が意識される中、米ドル円相場は160円台まで上昇しました。7月から9月半ばにかけては、日銀の追加利上げ観測が高まったことや米国景気の減速懸念が強まる中、米ドルは下落しました。9月半ばから2025年1月上旬にかけては、米国の経済指標が堅調な結果を示したことなどから米10年債利回りが上昇し、米ドルが上昇しました。当期末にかけては、日銀が利上げを実施したことや米10年債利回りが低下したことなどから再び下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2024年2月27日～2025年2月25日)

当ファンドでは、親投資信託である「しんきん米国債券ETFマザーファンド」(米国債券)、「しんきんS&P500インデックスマザーファンド」(米国株式)、「しんきんゴールドETFマザーファンド」(金)の受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産(米国債券・米国株式・金)に分散投資を行いました。

当ファンドは、米国債券の投資比率を「60%程度」としつつ、ファンドの基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制することを目標として、米国株式と金への投資比率をそれぞれ「2.5～20%程度」の範囲内で調整します。当期は、2024年3月に基準価額の変動リスクが低下したことから、米国株式と金への投資比率を引き上げましたが、4月に基準価額の変動リスクが上昇したことから、米国株式と金への投資比率を引き下げました。その後、10月と2025年2月に基準価額の変動リスクが低下したことから、米国株式と金への投資比率を再び引き上げました。

また、米国債券については、原則として為替ヘッジを行っています。

当期の各月末および決算日(2025年2月25日)の各資産(該当するマザーファンド)への投資比率は、下表のとおりです。

		米国債券	米国株式	金
2024年	2月	60.2%	5.0%	5.0%
	3月	59.8%	16.0%	16.3%
	4月	60.4%	8.5%	8.5%
	5月	60.0%	8.6%	8.6%
	6月	60.3%	8.9%	8.9%
	7月	59.7%	8.7%	8.8%
	8月	60.1%	8.6%	8.6%
	9月	59.3%	8.8%	8.7%
	10月	60.1%	12.4%	12.7%
	11月	59.7%	12.2%	12.3%
	12月	60.3%	12.8%	12.9%
	2025年	1月	59.7%	12.9%
2月		57.0%	14.8%	15.2%

各マザーファンドの運用経過は、次のとおりです。

## 米国債券

## ●しんきん米国債券ETFマザーファンド

信託財産の成長を目指し、上場投資信託である「iシェアーズ・コア 米国総合債券市場ETF」を主要投資対象として運用を行いました。上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

## 米国株式

### ●しんきんS & P 500インデックスマザーファンド

S & P 500 指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指し、上場投資信託である「i シェアーズ・コア S & P 500 E T F」を主要投資対象として運用を行いました。上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

## 金

### ●しんきんゴールド E T F マザーファンド

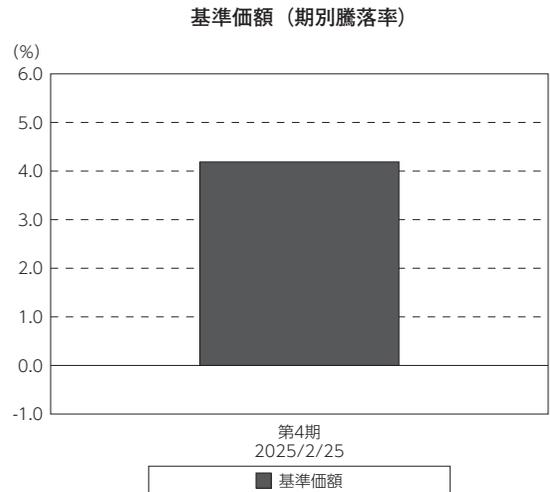
金地金価格への連動と信託財産の成長を目指し、上場投資信託である「i シェアーズ ゴールド・トラスト」を主要投資対象として運用を行いました。上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年2月27日～2025年2月25日)

当ファンドは、海外の複数の資産（米国債券・米国株式・金）に分散投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

**分配金**

(2024年2月27日～2025年2月25日)

当期の分配金については、経費控除後の配当等収益や期末の基準価額水準等を勘案して、1万口当たり180円(税込み)としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

**分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期
	2024年2月27日～ 2025年2月25日
当期分配金	180
(対基準価額比率)	1.855%
当期の収益	180
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	60

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

引き続き運用の基本方針に従い、主として親投資信託である「しんきん米国債券ETFマザーファンド」(米国債券)、「しんきんS & P 500インデックスマザーファンド」(米国株式)、「しんきんゴールドETFマザーファンド」(金)の受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産(米国債券・米国株式・金)に分散投資を行います。

各資産への投資比率は、米国債券の投資比率を「60%程度」としつつ、ファンドの基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制することを目標として、米国株式と金への投資比率をそれぞれ「2.5~20%程度」の範囲内で調整します。米国株式と金の投資比率は、ほぼ同じ比率とします。

なお、米国債券については、原則として為替ヘッジを行います。

各マザーファンドの運用方針は、次のとおりです。

### 米国債券

#### ●しんきん米国債券ETFマザーファンド

主として上場投資信託である「iシェアーズ・コア 米国総合債券市場ETF」へ投資することで、実質的に米国の債券に投資を行い、信託財産の成長を目指します。

### 米国株式

#### ●しんきんS & P 500インデックスマザーファンド

主として上場投資信託である「iシェアーズ・コア S & P 500ETF」へ投資することで、実質的に米国の株式に投資を行い、S & P 500指数(配当込み、円換算ベース)に連動することを目指します。

### 金

#### ●しんきんゴールドETFマザーファンド

主として上場投資信託である「iシェアーズ ゴールド・トラスト」へ投資することで、金地金価格への連動と信託財産の成長を目指します。

## お知らせ

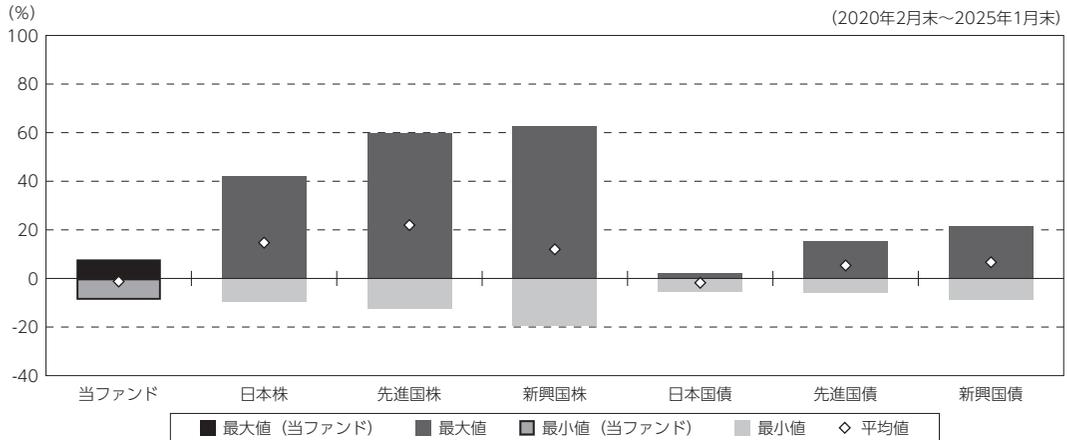
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/資産複合		
信託期間	無期限		
運用方針	①主として各マザーファンドの受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産（債券・株式・金）に分散投資を行います。		
	②各マザーファンドの受益証券への投資比率は、以下の資産配分比率を目指します。		
	資産	マザーファンド	資産配分比率
	米国債券	しんきん米国債券ETFマザーファンド	60%程度
	米国株式	しんきんS & P 500インデックスマザーファンド	2.5%~20%程度
金	しんきんゴールドETFマザーファンド	2.5%~20%程度	
主要投資対象	③ファンドの基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制することを目標として、米国株式と金への投資比率を上記の資産配分比率の範囲内で調整し、短期金融資産を組み入れます。(米国株式と金の資産配分は、ほぼ同じ比率とします。)		
	④しんきん米国債券ETFマザーファンドについては、原則として為替ヘッジを行います。		
運用方法	⑤資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。		
分配方針	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、短期金融資産にも投資を行います。		
	海外の複数の資産（債券・株式・金）に分散投資をすることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。		
分配方針	年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。		
	①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。		

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	7.8	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 8.8	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 1.2	14.7	21.9	12.0	△ 1.8	5.3	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年2月から2025年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2022年6月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、21ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2025年2月25日現在)

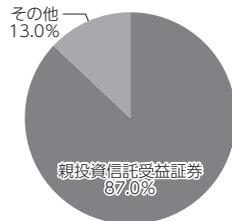
## ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第4期末
	%
しんきん米国債券ETFマザーファンド	57.0
しんきんゴールドETFマザーファンド	15.2
しんきんS & P 500インデックスマザーファンド	14.8
組入銘柄数	3銘柄

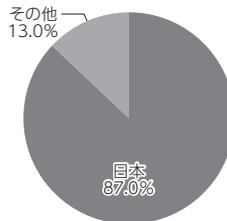
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

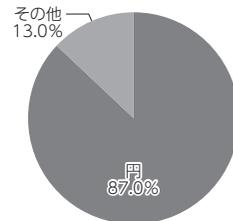
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

## 純資産等

項 目	第4期末
	2025年2月25日
純資産総額	317,091,113円
受益権総口数	333,009,236口
1万口当たり基準価額	9,522円

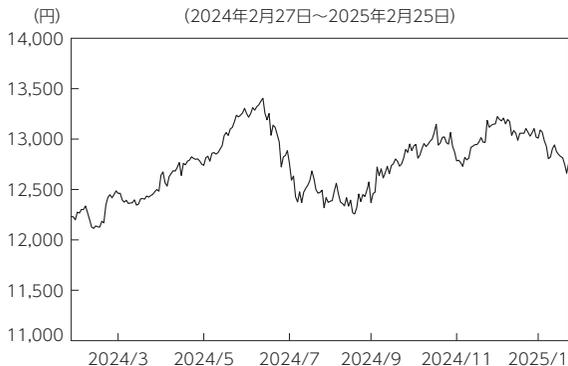
(注) 期中における追加設定元本額は55,889,057円、同解約元本額は125,862,626円です。

組入上位ファンドの概要

しんきん米国債券ETFマザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年2月27日～2025年2月25日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年2月27日～2025年2月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	4 (4)	0.029 (0.029)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)
(c) その他費用 (保管費用)	10 (10)	0.078 (0.075)
(その他)	(0)	(0.003)
合計	14	0.108

期中の平均基準価額は、12,739円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

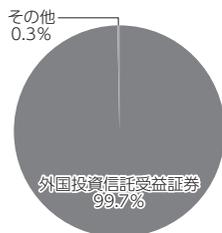
【組入上位銘柄】

(2025年2月25日現在)

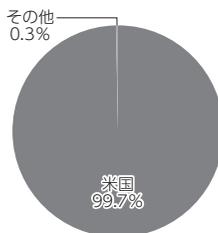
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.7%
組入銘柄数	1銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

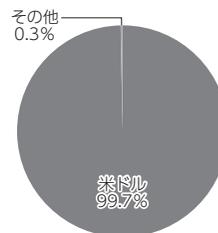
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

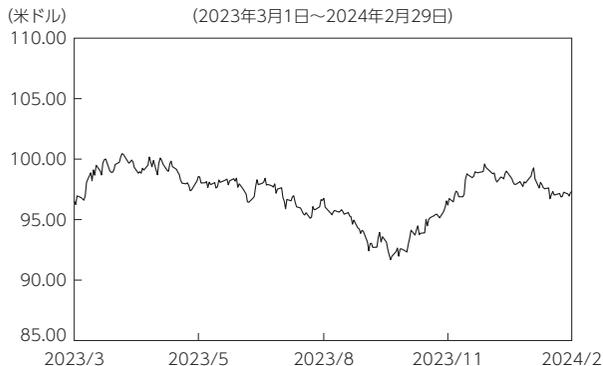
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> iShares Core U.S. Aggregate Bond ETF

※ BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】

(2023年3月1日～2024年2月29日)



【費用比率】

(2023年3月1日～2024年2月29日)

項 目	比 率
エクス Pens レ シ オ	0.03 %

(注) エクス Pens レ シ オは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

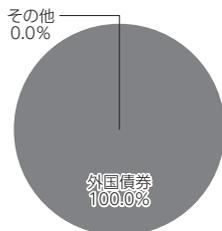
【組入上位10銘柄】

(2024年2月29日現在)

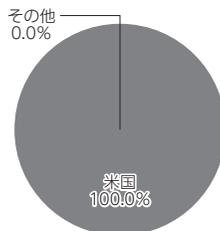
銘 柄 名	利 率	満 期 日	比 率
	%		%
1 TREASURY NOTE	0.38	2026/1/31	0.6
2 TREASURY NOTE	2.88	2032/5/15	0.4
3 TREASURY NOTE	0.75	2028/1/31	0.4
4 TREASURY NOTE (OLD)	4.50	2033/11/15	0.4
5 TREASURY NOTE (20LD)	3.88	2033/8/15	0.4
6 TREASURY NOTE	4.13	2032/11/15	0.4
7 TREASURY NOTE	2.75	2032/8/15	0.4
8 TREASURY NOTE	1.50	2026/8/15	0.4
9 TREASURY NOTE	1.88	2032/2/15	0.4
10 TREASURY NOTE	3.50	2033/2/15	0.4
組入銘柄数		11,547銘柄	

※マネー・マーケット・ファンドを除いて表示しています。

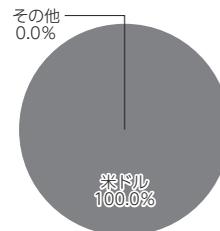
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

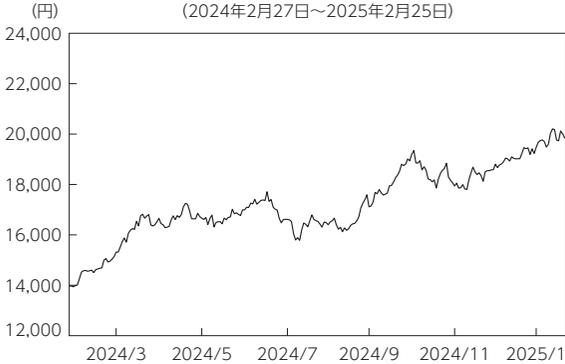


(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

## しんきんゴールドETFマザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2024年2月27日～2025年2月25日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2024年2月27日～2025年2月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	71 (71)	0.414 (0.414)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保管費用)	73 (70)	0.428 (0.412)
(その他)	(3)	(0.016)
合計	144	0.844

期中の平均基準価額は、17,106円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## 【組入上位銘柄】

(2025年2月25日現在)

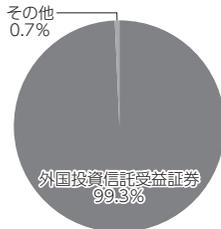
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ISHARES GOLD TRUST	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.3%
	組入銘柄数		1銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

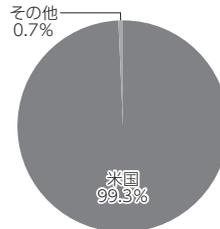
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

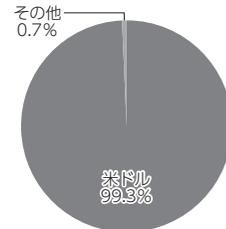
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

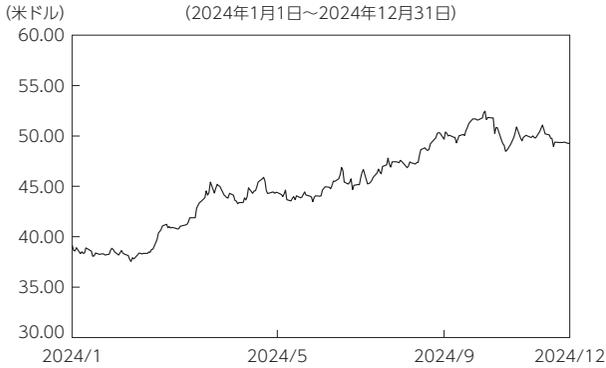
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜ご参考＞ iShares Gold Trust

※BlackRock Inc.のホームページ掲載データを基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】

(2024年1月1日～2024年12月31日)



【費用比率】

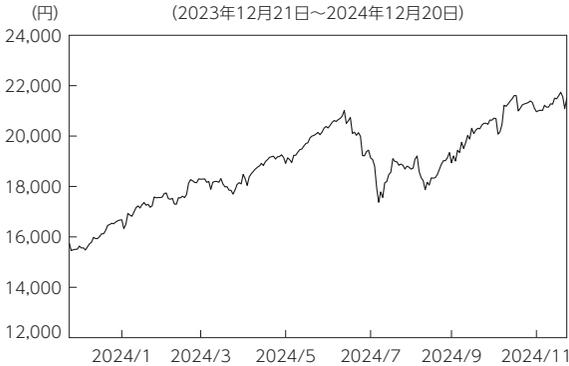
(2024年1月1日～2024年12月31日)

項 目	比 率
スポンサー費用	0.25%

(注) スポンサー費用とは、ファンド管理に掛かる費用をいいます。

しんきんS & P 500 インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年12月21日～2024年12月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	1 (1)	0.006 (0.006)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	2 (2) (0)	0.012 (0.012) (0.000)
合 計	3	0.018

期中の平均基準価額は、18,693円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

【組入上位銘柄】

(2024年12月20日現在)

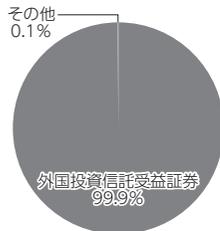
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
1	ISHARES CORE S&P 500 ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.9%
	組入銘柄数	1銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

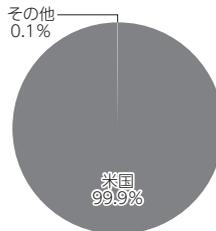
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

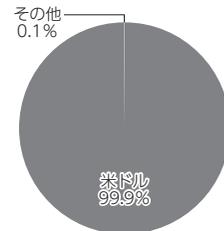
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

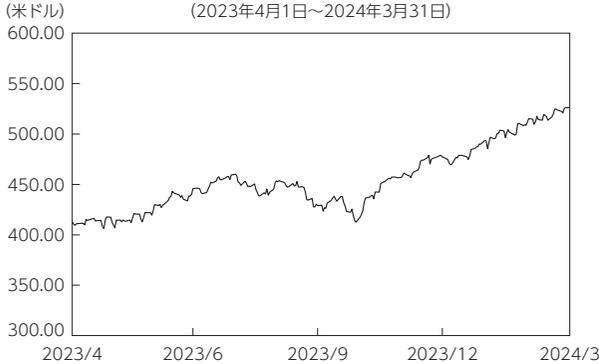
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> iShares Core S&P 500 ETF

※ BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】

(2023年4月1日～2024年3月31日)



【費用比率】

(2023年4月1日～2024年3月31日)

項 目	比 率
エクス Pens レシオ	0.03%

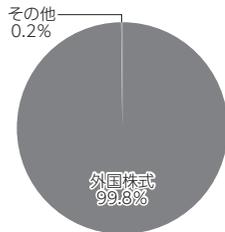
(注) エクス Pens レシオは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

【組入上位10銘柄】

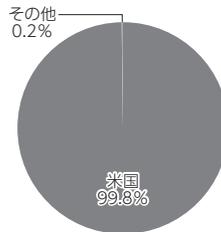
(2024年3月31日現在)

銘 柄 名	比 率
1 MICROSOFT CORP	7.1%
2 APPLE INC	5.6%
3 NVIDIA CORP	5.1%
4 AMAZON COM INC	3.7%
5 META PLATFORMS INC CLASS A	2.4%
6 ALPHABET INC CLASS A	2.0%
7 BERKSHIRE HATHAWAY INC CLASS B	1.7%
8 ALPHABET INC CLASS C	1.7%
9 ELI LILLY	1.4%
10 BROADCOM INC	1.3%
組入銘柄数	503銘柄

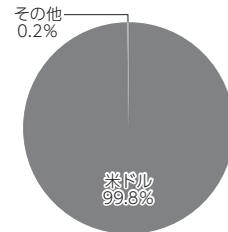
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。